

出藍の誉れ

〈学校の教育目標〉

自主共生

自ら 仲間と共に よりよく

出藍の会を行いました その1

2月6日（火）に出藍の会を行いました。この会に向けて、1～3年生までの交流活動として、掃除交流や授業交流を行ってきました。そして本番の今日は、一人一人がこれまでの学校生活を振り返って、自分が頑張ってきたことをまとめた作文を読み上げる、作文交流を行いました。今回は1年生の作文を紹介します。



『これまでの私、これからの私』

1年1組 大島 瑠夏

5月9日に「総合的な学習の時間」のオリエンテーションを行いました。そのときに、「進路学習とは、とても簡単にいうと、令和8年4月1日にどうするのか？」を考えることだと言われました。

正直私は、それを聞いたときに、「もう受験のことについて話すのか？勉強したくないな～」と思いました。そう思っているうちに1年が過ぎ、だんだんと近づいてくる受験に焦りの気持ちがありました。なぜなら、2年後の今はすでに中学校卒業後に進学をするのか、就職をするのか、進学するのなら、どの学校のどんな科を受験するのかを決定しているからです。正直、今の自分は中学校を卒業した後、進学はしたいと思っているけど、どこの学校のどこの科で勉強したいという気持ちはなく、今後就職をするときに、高校を出ていた方が選択肢が広がるかなと思い、とりあえず高校生になりたいという気持ちです。

でも、この1年間でいろんな方に出会いました。その中で一番自分が心に残っているのは、6月1日の地域調べのときに話してもらった伊藤先生です。伊藤先生は、私たち1年1組の担任の先生です。地域調べでは、中学校の先生の仕事の一環として、講師をしてくださいました。伊藤先生は、どの職業につくか悩んでいたそうです。そのときに、自分が生きている意味を見つけたいと思い、よく「〇〇先生のおかげで頑張れた」と自分の生きている

意味のある、学校の先生なったということを知りました。伊藤先生でいうと、自分がどんな分野で、どんな仕事をしたいのか考えて、生き方を選んだのだと思います。

自分はというと、伊藤先生のように人との関わりのある仕事につきたいと思ってはいるけど、明確には決まっていません。ただこれからの自分を考えたときに、まだどんな仕事につくかを決められていなくとも、自分の学力を伸ばして、3年生の12月に進路を決めるときの選択肢を増やすことはできると思います。だからこそ、私は日頃の授業では積極的に挙手したり、自分が後で見たとときに見やすいノートづくりをしたりしたいです。家では、毎日1時間勉強をするなどの目標を立てて、学力を伸ばして、選択肢を増やせるようにしたいです。

来年のこの「出藍の会」では、中学校卒業後の自分がどんな生き方をしたいのかを、より詳しく話せる自分になりたいです。



『これまでの私、これからの私』

1年2組 森川 莉乃

5月9日に「総合的な学習の時間」のオリエンテーションを行いました。そのときに、「進路学習をこれからの時間していく」と言われました。正直私は、「どうでもいいな」と思って聞いていた部分がありました。なぜなら、まだ5月9日なんです。これから中学校生活が始まるのに、もう進路の話をしているからです。

でも、あれから時が過ぎ、もうすぐ先輩になるというのです。あっという間の1年でした。今思うと「まだ」ではなく、「もう」と思うべきだったのでしょか。今でもふと考えてしまいます。しかし、まだ早いのではないかと考えてしまいます。中学を卒業したらどうするのか。このままでいいのか。やりたいこともなりたいたいものも決まっていないのと思うからです。なので、「やりたいこと、

なりたいこと」が見つかるかどうか分からないけれど、この1年で学んだことや頑張ったことを書いて伝えたいと思いました。

私が中学生になって思ったことは、勉強をたくさんするという、そして係の仕事や委員会などの仕事が増えたということです。もともと私は、まわりの人に意見を出したり、何かを提案したりすることが好きでした。でも、どんな仕事かわかんないし、自分がやっていいのかと自分を追いこんでしまうことがあります。そんな中、教科係長という仕事につきました。クラスの中には一人しかいないので、頼れる人がいませんでした。不安になりました。自分を選んでくれてうれしいと思う半分、本当にいいのかと思うことがたびたびありました。そんな中、私は救われました。それは縦のつながりでした。ある日の教長会で先輩に相談することにしました。すると、先輩は優しく解決策を言ってくれました。そこでとても安心しました。先輩に言ってもらったことをクラスみんなに伝えました。すると、先生もみんなも理解してくれたので、役に立ったのかもしれないと感じました。このことがあってから、自分で考えて意見を伝えてみたいと思いました。あるキャンペーンのときには、クラスに合ったやり方を考え、自分が教長だからできることを考えました。

進路についてはまだ何も決まっていなくてもいいけれど、自分ができることからやっていきたいと思いました。係の仕事をするうえで、自分で責任を感じてやっていきたいと思いました。そのためにもどんなことがやりたいとか、あんなことがしたいなどと、先輩のようにクラスみんなに伝えられるようになっていきたいです。

来年のこの「出藍の会」のときには、自分の意見に自信をもって伝えられるような2年生になり、中学校卒業のことも考えて、自分の言葉で詳しく話せるようになりたいです。



『1年間の成長、これからの姿』

1年3組 玉井 湊翔

僕は4月に会った新しい仲間と一緒に今まで過ごしてきました。この1年間で成長できたことは「自信」です。僕は、中学1年生になった4月に小学校で一緒だった人や初めての人も会いました。小学校のように慣れた環境から新しい環境へと変

わり、緊張したり自信が少しもてなかったりと、4月の自分は初めての環境に対して正直不安の気持ちが大きかったです。でも、初めてでも明るく声をかけてくれる仲間、クラス全体に声を出してくれる仲間もたくさんいました。そんな仲間がすごいと思ったし、自分だって明るい仲間の雰囲気が好きだったし、楽しかったから、僕もクラスを支えたり、つくっていったりできるようにしたいと感じました。だから、スポーツ祭や文化祭でもクラス全体に関われるよう、仲間と一緒に動きました。すると、応えてくれる仲間もたくさんいて、それが僕にとってうれしかったから、その後も続けていくことができました。

他にもこの1年間の行事や活動でたくさんの人に出会いました。仕事とか個々のことはそれぞれだけど、それにかける思いや生きがい僕はすごいと思いました。なぜかという、自分が選んだ仕事とか職に自分の思いがあることは大切なことで、その思いから動いていることがすごいと感じたからです。僕は、まだ将来やりたいことが、はっきりと自分の中で決まっているわけでもないし、何かこうしたいという思いがあるわけでもありません。でも、誰でもどんな人にも自分が自信をもって手助けしたり、仕事によっては喜んでもらえるようにしたりしたいです。高校に入りたい、就職したいの前に、中学で二度のクラス替えがあります。僕は、今のクラスが楽しいし、仲間とも関わることができるから、このままのクラスがいいという気持ちがとても大きいです。仲のいい友達と話したり、クラスで笑ったり楽しいことがたくさんありました。クラスが変わっても、友達と離れてしまっても、そのクラスでも自信をもって関わりたいです。そのために、自分から仲間に声をかけて、できることならクラス全体を見てよりよいクラスにできるような動きをできるようにしていきたいです。

この1年間で得た「自信」を2年生となった新しい環境でも高められるようにしたい。

土曜寺子屋に参加しましょう

3年生は公立高校の第一次選抜まで、1か月を切りました。1・2年生も期末テストまであと1週間です。勉強する環境を変えてみると、気持ちが切り替わり、集中力が上がることがあります。ぜひ土曜寺子屋を活用しましょう。明後日2月10日(土)に13時30分から始まります。場所は東部コミュニティーセンターです。地域の方が、藍川中の生徒のために土曜寺子屋を運営してくれています。